

「線維筋痛症診療ガイドライン 2017」 CQ 集

<総論>

1. 疾患概念

CQ1-1: 線維筋痛症とはどのような疾患か

2. 疫学

CQ2-1: わが国の線維筋痛症の患者数はどれくらいか

CQ2-2: わが国の線維筋痛症の性差・年齢分布はどうであるか

3. 経過・予後

CQ3-1: 線維筋痛症の日常生活動作能、QOL の状況はどうであるか

CQ3-2: 線維筋痛症の生命予後はどうであるか

4. 病態

CQ4-1: 線維筋痛症の病因・病態はどこまで解っているか

<臨床的事項>

5. 誘因

CQ5: 線維筋痛症の発症要因には何があるか

6. 臨床症状・併存疾患

CQ6-1: わが国の線維筋痛症の臨床症状はどのようなものか

CQ6-2: 併存疾患にはなにがあるか

CQ6-3: 線維筋痛症の重症度評価には何があるか

CQ6-4: 線維筋痛症の予後予測因子はあるか

<治療とケア>

7. 基礎療法

CQ7: わが国の線維筋痛症に対する基礎療法には何があるか

8. 薬物療法

1) 治療総論

CQ8-1: わが国の線維筋痛症に対する薬物療法アルゴリズムの原則は何か

2) 神経障害性疼痛治療薬

CQ8-2: わが国の線維筋痛症に対するプレガバリンの有効性はどうか

CQ8-3: プレガバリンが使用できない場合の同系統の薬剤のオプションに何があるか

3) 抗うつ薬

CQ8-4: わが国の線維筋痛症に対するデュロキセチンの有効性はどうか

CQ8-5: その他の抗うつ薬は線維筋痛症に対して有効か

4) その他の向精神薬

CQ8-6：抗うつ薬以外の向精神薬は線維筋痛症に対して有効か

CQ8-7：線維筋痛症の睡眠障害に対する薬物療法はどうか

5) 鎮痛補助薬

CQ8-8：鎮痛補助薬は線維筋痛症に対して有効か

CQ8-9：オピオイド系薬剤は線維筋痛症に有効か

CQ8-10：弱オピオイド系薬剤（トラマドール、ブプレノルフィン）使用上の注意は何か

CQ8-11：線維筋痛症に対して強オピオイド系薬剤（麻薬）の適応はあるか

9) その他の薬物療法

CQ9-1：非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)は線維筋痛症に有効か

CQ9-2：グルココルチコイドは線維筋痛症に有効か

CQ9-3：ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液（ノイロトロピン®）は線維筋痛症に有効か

CQ9-4：生薬・漢方製剤は線維筋痛症に有効か

CQ9-5：神経ブロック・トリガー治療等は線維筋痛症に有効か

CQ9-6：その他の薬物療法で線維筋痛症に有効なものがあるか

10) 併用療法

CQ10-1：薬物の併用療法は線維筋痛症に対して有効か

11) 随伴症状に対する薬物療法

CQ11-1：線維筋痛症の随伴症状に対する薬物療法は有効か

CQ11-2：ドライアイ、ドライマウスに対する治療は有効か

CQ11-3：下痢型過敏性腸症候群様症状に対する治療は有効か

CQ11-4：下肢静止不能症候群；ムズムズ脚症候群）に対する治療は有効か

CQ11-5：付着部炎様症状に対する治療は有効か

CQ11-6：間質性膀胱炎・過活動膀胱様症状に対する治療は有効か

CQ11-7：起立性調節障害（起立性頻脈）に対する治療は有効か

CQ11-8：認知症状に対する治療は有効か

9. 非薬物療法

1) 統合医療

CQ12-1：鍼灸治療は線維筋痛症に有効か

CQ12-2：その他の統合医療で線維筋痛症に有効なものは何か

2) 運動療法

CQ12-3：運動療法（段階的有酸素運動）は線維筋痛症に有効か

CQ12-4：リハビリテーションは線維筋痛症に有効か

3) 精神・心理療法

CQ12-4：認知行動療法は線維筋痛症に有効か

CQ12-5：その他の精神・心理療法で線維筋痛症に有効なもの是何か

4) その他の非薬物療法

CQ12-6：その他の非薬物療法で線維筋痛症に有効なものは何か

10. 支持療法（ケア、セルフケア・マネジメントなど）

1) ケア

CQ13-1：線維筋痛症診療に必要な医療者の態度・姿勢は何か

CQ13-2：線維筋痛症診療で入院の適応は何か

CQ14-3：線維筋痛症患者の家族・学校・職場において配慮すべき点は何か

2) セルフケア・マネジメント

CQ14-4：線維筋痛症患者に必要な病気との付き合い方に何があるか

CQ14-5：わが国における線維筋痛症に対する支援組織として何があるか

CQ14-6：わが国の線維筋痛症に対する公的補償制度には何があるか

CQ14-7：サプリメント・健康食品などは線維筋痛症に有効か